

第3章 重点戦略プランの取組

1 第1期実行計画 重点戦略プラン全体の実施結果

重点戦略プランの第1期実行計画期間の実施結果は、5.1%の施策について計画期間内の目標達成に至りませんでした。94.9%の施策については目標を達成したことから、おおむね順調な進捗であったと総括できます。

(1) 重点戦略プランの概要

重点戦略プランは、新総合計画に基づく施策のうち、特に重点的・戦略的に取り組むことにより、大きな施策成果の達成や課題の解決を目指すとともに、他の施策を牽引し、総合計画全体の着実な推進を先導していく施策について、9つのプラン(図表2-1参照)及び第1期計画期間内に新たに追加した6つを含む155の施策計画に取りまとめたものです。

また、重点戦略プランの各施策計画は、プランの取りまとめ趣旨から、計画期間において実現を目指す目標を具体的に設定するとともに、その達成に向けて重点的な予算配分や執行体制の整備を行うこととしています。

(2) 実施結果の総括

第1期実行計画期間を通しての9つの重点戦略プランの実施結果を総括すると、全施策計画のうち5.1%(8の施策計画)は計画期間内の目標達成に至りませんでした。94.9%(147の施策計画)が目標を達成し、全体としてはおおむね順調な進捗であったと考えます。(図表2-2参照)

また、重点戦略プランについては、他の施策を牽引し、新総合計画全体の着実な推進を先導していくものであること、9つのプラン構成は、おおむね10年間を目標とする基本構想期間を見据えた中期的な視点から取りまとめたものであること、といった考え方から、第2期実行計画においても9つの重点戦略プランの構成や考え方を継承・発展させていくことを基本とし、問題が生じている施策については見直しを図り、新しい施策、強化した施策として取りまとめました。

<図表2 - 1 第1期実行計画 重点戦略プランの構成及び内容>

プラン名	内容
プラン1 安全・安心な地域生活環境の整備	市民の安全・安心な地域生活を確保するために、市民の関心が高い分野である防災や防犯などの施策に取り組むものです。
プラン2 高齢社会を支え合う地域福祉社会づくり	高齢社会をともに支え合う「地域福祉社会」を実現するために、多様な居住環境整備や介護予防、さらにシニア世代の能力を地域で活かす取組など、持続可能なしくみづくりに向けた施策に取り組むものです。
プラン3 総合的な子ども支援	「総合的な子ども支援」を推進するために、保育環境の整備や教育改革の推進などの施策に取り組むものです。
プラン4 環境配慮・循環型の地域社会づくり	環境に配慮した持続型社会の実現に向け、川崎の持つ特徴や個性を活かしながら市民との協働による施策に取り組むものです。
プラン5 憩いとうるおいの環境づくり	緑豊かな環境の創出に向け、市民・事業者との協働により緑の保全・創出・育成に取り組むものです。
プラン6 川崎の活力を生み出す産業イノベーション	川崎の産業活力を高めるために、競争力強化に向けた産業イノベーションを促進するとともに、立地活動環境を向上させることによって企業立地を誘導する戦略的な取組を進め、さらに今後大きな市場拡大が見込まれる新産業分野の創業促進、育成に取り組むものです。
プラン7 川崎臨海部の再生と都市拠点・ネットワークの整備	首都圏全体における拠点機能や基盤形成の動きを踏まえながら、本市の地理的優位性を活かした「広域調和・地域連携型まちづくり」を推進するものです。
プラン8 川崎の魅力を育て発信する取組	川崎が持つ特徴や長所、地域資源などを有効に活かしながら、市民がいつまでも愛着と誇りを持てるまちづくりと、本市のイメージアップを図る施策に総合的に取り組むものです。
プラン9 市民自治と区役所機能の拡充	自治基本条例の基本理念に基づき市民自治の拡充を推進するとともに、参加と協働によるまちづくりや、地域の課題解決のための中心的役割を果たす区役所の機能を高める取組などを進めるものです。

<図表 2 - 2 第 1 期実行計画 重点戦略プラン別の進捗状況区分内訳>

プラン名	施策 計画数	進捗状況区分()						
		1	2	3	4	5	6	7
プラン 1 安全・安心な地域生活環境の整備	20	16	-				4	
プラン 2 高齢社会を支え合う地域福祉社会づくり	10	7	-		2		1	
プラン 3 総合的な子ども支援	16	14	-				2	
プラン 4 環境配慮・循環型の地域社会づくり	11	10	-				1	
プラン 5 憩いとうるおいの環境づくり	17	9	-	1	3		4	
プラン 6 川崎の活力を生み出す産業イノベーション	21	21	-					
プラン 7 川崎臨海部の再生と都市拠点・ネットワークの整備	17	11	-				4	2
プラン 8 川崎の魅力を育て発信する取組	27	19	-				8	
プラン 9 市民自治と区役所機能の拡充	16	12	-	2			1	1
合計	155	119	-	3	5	0	25	3
	100.0%	76.9%	-	1.9%	3.2%	0.0%	16.1%	1.9%

進捗状況区分の内容

区分	内 容
1	計画期間内における目標達成に向けて、計画どおり進捗した
2	計画に対して若干の遅延があるものの、今後の対応により、年度内あるいは計画期間における目標達成は可能である
3	当初計画以上に進捗した
4	事業、施策は進捗したものの、計画に対して遅延があり、計画期間内における目標達成には至らなかった
5	計画に対して全く、あるいはほとんど進捗しなかった
6	環境変化や進捗状況に対応して当初計画を変更しており、変更後の計画に対して予定どおり進捗した
7	環境変化や進捗状況に対応して当初計画を変更しているものの、変更後の計画に対して予定どおり進捗しなかった

区分「2」については、第 1 期実行計画期間の総括評価として適切ではないので選択しないこととしました。

2 第1期実行計画 重点戦略プラン別の実施結果

9つの重点戦略プラン別の実施結果の概要を、次ページ以降にまとめました。それぞれの記載内容の見方は次のとおりです。

プラン1 安全・安心な地域生活環境の整備

アクションプログラム

防災危機管理対策の推進

【主な実施結果】
地域防災力の向上

- ・企業等との防災ネットワークの構築に向け、「川崎市防災協力連絡会」を設置しました。
- ・「ぼうさい出前講座」や「自主防災組織リーダー等育成研修」等により自主防災組織の育成を行いました。
- ・
- ・

危機管理対策の推進

- ・「国民保護協議会条例」、「国民保護対策本部及び緊急対処事態対策本部条例」、「川崎市国民保護計画」、「国民保護避難実施マスターマニュアル」、「危機管理対処方針」の改正を行いました。
- ・
- ・

【課題と第2期実行計画における取組】

- ・「防災危機管理対策の推進」はおおむね順調に実施されました。第2期実行計画においても引き続き・・・を進めます。

重点戦略プランの名称です。

各プランを構成する施策計画の総称です。

各アクションプログラムの3年間の取組結果概要です。

3年間の取組を踏まえた主な課題と、第2期実行計画における取組内容です。

施策計画

施策計画名	現状	目標			
		2005年度	2006年度	2007年度	2008年度以降
アクションプログラム：防災危機管理対策の推進					
地域防災の推進 市民・企業・行政のそれぞれの役割分担を明確化し、地域の防災力を強化するために、地震対策条例を改正するとともに、地域における自主防災組織等の活性化を図ります。	(防災ネットワーク連絡会議、避難所運営会議の活性化)				
	体制整備・啓発・指導				
	(自主防災組織の育成)				
	地域における防災訓練、啓発活動等の推進				
	(地震対策条例の改正)				
	改正に向けた検討			条例改正	
実施結果	進捗状況区分				

第1期実行計画上の事業計画です。各施策の現状と実行計画期間の目標を記載しています。

第1期実行計画期間の目標に対する実施結果です。社会環境の変化等の影響により目標を変更している場合は、その内容を明記しています。